

第2学年 学級活動 指導案

平成30年10月 2日(火) 第5校時

- 1 議題 「合唱コンクールに向けての取組を考えよう」
内容(1) 学級や学校の生活づくり
ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題設定の理由

(1) 生徒の実態

本学級は、男女の仲が良く、明るく元気な生徒が多いことが特長の集団である。また、委員会活動や係活動や当番活動などには責任をもって取り組むことができている。第1学期の体育祭の取組では、学級活動の内容(1)の話合い活動「学級会」で意見交換を重ね、お互いの気持ちを理解した上で練習の計画やルールづくりなどを学級全員で決定し、協力して取り組むことができた。第2学期に行われる青葉祭の合唱コンクールに対しても、実行委員や伴奏者、指揮者、パートリーダーに多くの生徒が立候補したことから、学級の合唱練習に強い思いをもって取り組むことが期待できる。そこで、体育祭の経験を生かし、合唱コンクールに向けても同様に話合い活動を取り入れ、集団決定・集団実践の経験を重ねていき、学級の集団としての力の向上を図る。

(2) 議題について

本校の第2学期に行われる合唱コンクール(10月27日実施予定)は、体育祭と並んで学級で取り組む二大イベントであり、毎年、全校生徒が熱心に練習に取り組む伝統的な行事である。音楽科の授業以外に、昼休みと放課後の時間を活用してスケジュールを組み、学級単位で練習に取り組んでいる。昨年度、第1学年として生徒が初めて体験した合唱コンクールでは、ほとんどの活動が教師主導の下で行われていた。一方、上級生は実行委員を中心として主体的に活動し、本番では各学級が素晴らしい合唱を披露した。進級し、「先輩」となったことで、同様の取組と合唱をつくり上げることが一つの目標として求められる。そこで、学校行事のねらいを十分に理解し、体育祭と同様、合唱コンクールにおいても実行委員と学級委員を中心に学級会を開き、話合い活動を行う。この話合い活動を主体的活動のきっかけとし、一人一人の思いを大切にして学級の団結力を高めていくべく、本議題を設定した。

3 指導のねらい

- 話合い活動を通して他者の意見や考えを聞き、学級全員で取組を決定することで、主体的に取り組む態度を育てる。
- 互いのよさを認め、協力して実践する態度を育てる。

4 評価の観点と本実践における評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価 規 準	集団としての力の向上や諸課題に関心をもち、合唱コンクールに向けた活動に主体的に取り組もうとしている。	学級の一員として、自己の役割と責任をもち、学級の集団力を高められるように意見を出し合い、考え、判断し、実践に努めている。	合唱コンクールに向けて学級で話し合うことや、それをふまえて合唱に取り組む意義を理解している。

5 展開の過程

(1) 事前の活動と生徒の活動

期日	活動の場	活動内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と 評価方法（評価の観点） 【評価方法】
9月3日	昼休み 学級活動委員会	・議題の選定と提案理由の練り上げ ・アンケート調査の作成	・提案理由が明確になるように助言する。	・よりよい学級づくりのために意欲的に話合いに参加している。 (関・意・態) 【観察】
9月10日	5校時 学級活動	・アンケート調査「合唱コンクールに向けての取組を考えよう」実施	・各自の考えや意見を書き込めるようにする。	・真剣な態度でアンケート調査を記入を行っている。 (関・意・態) 【アンケート調査】
9月11日	昼休み 学級活動委員会	・調査結果確認	・学級成員一人一人の意見を大切に扱い、反映させるよう助言する。	・話合いを深めようと準備を進めている。 (関・意・態) 【観察】
	放課後 学級活動委員会	・打合せ ・リハーサル	・役割分担、本時の活動の流れを検討し、活動の見通しをもたせる。	
9月18日	放課後 学級活動委員会		・当日の話合いで予想される意見などのイメージを共有し、本時の流れを確認する。	・合唱コンクールに向けた取組を行っていくための話合いに必要なことを理解している。 (知・理) 【観察】
9月28日	放課後 学級活動委員会		・進行方法や役割、議題、提案理由などを再確認する。	

(2) 本時の活動と生徒の活動

ア 本時のテーマ

「体育祭の経験を踏まえ、合唱コンクールに向けて学級での取組を決定する」

イ 本時のねらい

- 合唱コンクールに向けた取組に関心を持ち、互いの活動意欲を高める。
- 学級の一員としての自覚を持ち、話合い活動で自分の考えを述べることができる。
- お互いの考えを交換し、共感したり、意見を述べたりすることができる。

ウ 展開

段階	活動の内容	・指導上の留意点 ○目指す生徒の姿と評価方法（評価の観点） 【評価方法】	資料等
活動の開始 5分	1 開会の言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の発表・確認	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールに向けて、意欲的な話し合いを促す呼びかけができるようにする。 一人一人が話し合いにおけるめあてを発表できるようにする。 司会、黒板記録、ノート記録の順に本時の活動における抱負を入れて自己紹介していく。 	資料等
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「合唱コンクールに向けての取組を考えよう。」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクール実行委員、学級委員を中心に検討した過程を示し、本時の議題を学級全体に伝える。 アンケート調査の結果から、コンクール本番に向け、充実した合唱練習を行い、素晴らしい合唱をつくり上げることを伝えさせる。 	学級会 ノート
	4 提案理由の説明	<p>今の合唱に満足しないで、さらに良い合唱を目指して活動をしていきたいです。その中で自分の役割を果たしたり、クラスで改善点を見付けたり、一人一人が真剣に取り組む意識をもって、去年よりも成長した取組をしていきたいです。本番では練習の成果を発揮して、後悔のない青葉祭にしたいです。</p>	事前アンケート
	5 決まっていることの確認	<p>○議題や提案理由に関心をもち、実行委員の提案を主体的に聞いている。（関）【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 決まっていること、提案理由を全員が共有できるように助言する。 本時のねらいとずれないように配慮する。 <p>・ノート記録の担当者が、既に決定していることを発表する。</p>	
	6 教師の話	<ul style="list-style-type: none"> 活発な話し合いになるような雰囲気づくりを行う。 ここまでの内容で補足があれば付け加える。 	

○本番:10月27日(土)

○歌う曲:学級合唱の他、学年合唱、全校合唱の計3曲

○練習可能な時間:昼休み、放課後の20分間

※昼休み、放課後を合わせて計10回音楽室、多目的室。計2回体育館、多目的室が割り振られている。それ以外は教室が基本となる。

○各学級にCD(音源)、CDデッキ(再生機器)を配布

○実行委員、指揮者、伴奏者、パートリーダー(分担決定済み)

活動の展開 30分	7 話し合い (1)学級練習の20分間の使い方を考えよう。 (2)練習を充実させるための約束と工夫を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・3段階討議法（出し合う→比べ合う→まとめる）を基本に進行するが、話し合いの活動過程の(1)については事前に「出し合う」を済ませておく。 ・(2)についても、事前に考えられるものは学級活動ノートに意見を記入させておき、「出し合う」を活性化させる。 ・(2)については出された意見は可能な限り生かしていく。 ・意見が出ず、話し合いが滞ったときや、方向性がずれそうになった場合は教師が適宜、助言する。 ・体育祭での取組を振り返るなど、過去の成功や失敗から考えさせる。 <p>○積極的に自分の考えを発表するとともに、他の考えに共感したり、意見を述べたりすることができる。</p> <p style="text-align: right;">(関) 【観察】</p>	過去の学級会記録
活動のまとめ 5分	8 決定事項の確認 9 自己評価・感想の記入 10 教師の話 11 閉会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを要約して、はっきりと伝えるようにする。 ・決定事項を踏まえて、これからどのように取り組んでいくかを考えさせる。 <p>○話し合いで決定したことを今後の学級練習に生かそうとする。</p> <p style="text-align: right;">(思) (知) 【学級会ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の合唱コンクールに向けて意欲的に取り組めるよう励ますとともに、学級会の内容を振り返り、良かった点、反省点を振り返る。 ・司会、書記、提案者に称賛を送る。 ・合唱コンクールに向けて協力し活動できるよう呼びかける。 	学級会ノート

(3) 事後の指導と生徒の活動

期日	活動の場	活動内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法（評価の観点） 【評価方法】
10月2日	帰りの会	・学級会ノートの回収	・個々にコメントや助言をつけ返却する。	
10月3日～26日	昼休み 放課後 等	・決定した事項の取組の実践	・学級で決めた約束と決まりを守って継続して合唱練習に取り組む。	・他と協力して合唱に取り組んでいる。 (関) 【観察】
10月27日	合唱コンクール	・学級合唱、学年合唱、全校合唱	・これまでの取組を振り返り、意欲を高めて当日本番に向かわせる。	

10月29日	学級活動	・合唱コンクールの振り返り	・合唱コンクールまでの取組と当日の合唱を振り返り、記入させる。	・事前～当日の活動を通して学級で取り組む意義を理解している。 (知) 【振り返り】
--------	------	---------------	---------------------------------	---